

科目名	ジャズ理論(ミュージックセオリー(3)(4))	担当教員名	小林 延江
単位数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	2年次
授業の到達目標	コードについての理解を深めると共に、曲の中で実際どのようなコード進行が使われているか等、曲をアナライズしていく力とそれを実践で役立てていける力を身につけていくことを目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に曲の中でどのように使われているのか等も紹介しながら講義し、ワークブックを用い繰り返し問題を解き練習しながら使い方を習得していく。		
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	メジャーダイアトニックコード(ダイアトニックコードについて・コードネーム、ディグリーネームを書けるようにする)	
2	講義	メジャーダイアトニックコードの各機能の意味を知る、主要和音・代理和音について	
3	講義	ケーデンス(終止形、ドミナントモーション、トゥーファイブ、セカンダリドミナント、偽終止について)	
4	講義	転回形の表記方法、ト音記号を用いた簡単なヴォイスング	
5	講義	ケーデンス(メジャー系)を実際に5線に書いてみる(保留をしながら)	
6	講義	楽譜と音源を用い、前半の総復習	
7	講義	確認テスト	
8	講義	マイナーダイアトニックコードの仕組み(ナチュラルマイナーのみ)	
9	講義	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアトニック	
10	講義	マイナーダイアトニックコードが持つ機能について知る	
11	講義	マイナーキーにおけるケーデンスについて知る、ヴォイスング(マイナー系)	
12	講義	楽譜と音源を用い、後半の総復習	
13	講義	期末予備テスト・振り返り	
14	講義	期末テスト・振り返り	
15	講義	テスト返却、復習	
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを吸収し正しい知識としてきっちり身につけて役立てていけるよう、毎授業時間内に行う小テストの見直し、教科書・ワークを使つての復習を日々行っていくこと。また積極的に楽譜を見る機会を増やしていくように。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック	
	参考書		
学生への メッセージ	LM1・2で身につけた基礎知識・読譜力を活かしながら、更に実践に繋がるアレンジ力も身につけていけるようレベルアップ目指して頑張りましょう。		

科目名	ソルフェージュ(イヤートレーニング(3)(4))		担当教員名	小林 延江
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修	教室	
授業の到達目標	<p>《リズム》4/4拍子,3/4拍子(タイ付きリズム)ではC,G,Fの音で4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符、16分休符、付点4分音符、付点8分音符、3連符の混ざったリズムを、6/8拍子では8分音符、16分音符、8分休符、付点4分音符、付点8分音符の混ざったリズムを聴き取れるように。《メロディー》Key:C、Key:F、Key:Cm、Key:Am《2声メロディー》Key:Cのメロディーを正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。《2声ハーモニー》1,3,4,5,6,8度音程のハーモニーを正確に聴き取れるように。《コード》Key:C 曲を用いて I-IV-V、IV(II)-V-I の聴き取りができるように。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>キーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を鍛えていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力を身につけていきます。ET1・2で学び身につけた音感を実践に繋げていけるよう所要所に復習を入れ反復練習を行いながら授業を進めていきます。</p>			
【実務経験】	2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容		
1	講義	1年次復習/聴き取り…4/4,3/4拍子/リズム打ち…6/8拍子/復習(1オクターブ) Key:C/2声メロディー		
2	講義	復習/リズム打ち…6/8拍子/復習(1オクターブ+低いB)/key:Cmでの聴き取り/2声ハーモニーの導入・3度音程のハーモニー練習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り(Hey Jude)		
3	講義	4/4拍子,3/4拍子…復習(タイ付き)/6/8拍子…既習リズムで書き取り/復習 Key:Cmでの聴き取り/2声ハーモニー・3度の音程/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り(贈る言葉)		
4	講義	4/4拍子,3/4拍子,6/8拍子/復習(1オクターブ+低いA)/Key:Amでの聴き取り/2声メロディー(ベースラインの書き取り)/2声ハーモニー/トライトーンのハーモニー練習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り(さく)		
5	講義	4/4拍子,3/4拍子…復習(タイ付き)/6/8拍子/Key:Amでの聴き取り/2声メロディー(ベースラインの書き取り)/2声ハーモニー復習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り		
6	講義	リズム・メロディー復習/2声メロディー(2声の書き取り) Key:C/2声ハーモニー 復習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り		
7	講義	中間確認テスト		
8	講義	テスト返却/リズム4/4拍子,3/4拍子,6/8拍子復習/メロディーKey:Fmajorの導入/2声メロディー・2声ハーモニー復習/コードKey:C 復習とIV(II)-V-Iの聴き分け		
9	講義	タイ付きリズム導入/メロディーKey:Fmajor/2声メロディー復習/6度音程のハーモニー練習/コード IV(II)-V-I		
10	講義	タイ付きリズム/メロディー復習 Key:Fmajor/2声メロディー・2声ハーモニー復習		
11	講義	リズム4/4拍子,3/4拍子の付点8分音符+8分音符リズムの導入/メロディーKey:Fmajor/2声メロディー復習/オクターブとユニゾンのハーモニー練習/IV(II)-V-I		
12	講義	総復習		
13	講義	テスト対策週(まとめ)		
14	講義	テスト・振り返り		
15	講義	テスト返却・復習		
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを吸収し正確な音感を身につけ役立てていけるよう、リズム叩きや正しい音程でメロディーを歌う練習等、復習を忘れず日々音に触れていくよう努力しよう。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価		
教材	教科書	イヤートレーニング		
	参考書			
学生への メッセージ	週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。ET1・2で学び身につけた音感+α実践で役立てていける耳コピ力を身につけていけるよう、レベルアップ目指して頑張りましょう。			

科目名	楽器レッスン(Gtハーモニックコンセプト2年)	担当教員名	森島 達雄
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	ポピュラー、ロックの楽曲を演奏するに於て、必要なコードの知識、リズムの知識スケールの知識を総合的に身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 講師作成の譜面、音源を使用して様々なタイプの楽曲の演奏をメロディープレイからと、バックイングプレイの両面から学習していく。 同時にアンサンブル感覚も育成する。		
【実務経験】1979年よりプロとしての演奏活動を始める。平行して同年よりヤマハ音楽振興会にてレッスン活動も始める。現在に至るまで、数多くのライブサポート、レコーディング、テキスト開発に携わっている。			
日程	授業形態	内容	
1	演習	トライアドポジション&コードワーク	
2	演習	アンサンブル&クリニック	
3	演習	16ビートルリフワーク&コードワーク	
4	演習	アンサンブル&クリニック	
5	演習	16ビートシャッフルリフワーク&コードワーク①	
6	演習	16ビートシャッフルリフワーク&コードワーク②	
7	演習	アンサンブル&クリニック	
8	演習	3連バラードメロディー&コードワーク①	
9	演習	3連バラードメロディー&コードワーク②	
10	演習	アンサンブル&クリニック	
11	演習	メジャーペントニックメロディー&コードワーク①	
12	演習	メジャーペントニックメロディー&コードワーク②	
13	演習	アンサンブル&クリニック	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	毎回積み重なっていく授業のため必ず復習する。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教科書	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	楽譜、理論、と聞くと難しいと思いきやいってしまう方もいらっしゃるみたいですが、実際はとても簡単で身につけると音楽友達とコミュニケーションを取るときに最適なツールの一つとなるので、気楽な気持ちで楽しく身につけよう!!		

科目名	楽器レッスン(Keyファンダメンタル)	担当教員名	元岡 衛
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	EN332		
予習、復習の習慣化。アドリブソロの組み立て。リズムの違いを理解する。様々なジャンルに対応出来る奏法を習得する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的な自身のメソッドを用いて進めて行く。		
【実務経験】4歳からクラシックピアノを習い始める。1989年に大阪スクールオブミュージック専門学校インストラクター科を卒業後、ピアノ講師を始める。2002年から現在に至るまでキーボード講師を続けながら関西を中心にライブ活動を行う。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Chordの理解力等レベルチェック	
2	演習	8beat Ballad奏法	
3	演習	12/8beat Ballad奏法	
4	演習	Diatonic Chordの説明	
5	演習	II m7-V7-I Δ7の説明	
6	演習	II m7-V7-I Δ7のメソッド	
7	演習	II m7-V7-I Δ7	
8	演習	Blues 8beat 奏法	
9	演習	Blues 8beat 奏法	
10	演習	Blues Shuffle 奏法	
11	演習	Blues Shuffle 奏法	
12	演習	Bossanova Snmba 奏法	
13	演習	Bossanova Snmba 奏法	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	復習として授業で習った内容を翌週も弾けるようにしておく。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教材	教科書	特になし	
	参考書	特になし	
学生への メッセージ	様々なスタイルの奏法を身に付け、Solo Pianoで表現出来る技術を身に付けましょう。		

科目名	楽器レッスン(ヴォーカルテクニック)		担当教員名	山本尚希
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修	教室	EN531
授業の到達目標	発声・歌唱力の技術を使い、課題曲(コーラスがある曲を選択)行う。ハーモニーを聞く力、どうなれより美しくアンサンブルできるようになる。またそれにとまなう譜面を読む力、コーラスを行う、チームメイト・パートナーとの成長に繋がるコミュニケーション能力を高める。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
	それぞれがベストを尽くして、行う事をゴールとして、課題曲の模範演奏をし、生徒達に完成の形または、なりたい景色を想像させて、音楽知識、発声の技術を使いながら、会話、ハーモニーを作る、生徒により個人差があるが、個々に成長に向けた課題をあたえ、チャレンジし続ける環境を作る。この授業内では、指摘、しかる、責める環境を作らず、彼からが自主的に、挑戦し、学び、夢中になる環境を作る。			
	【実務経験】ゴスペルグループソウルマティックスのsingerとして活動し、k-popアーティスト、劇団四季の俳優を指導。ゴダイゴ・ペーチェイヨル・ももクロ、その他業界の方との共演			
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業の方向性。内容を伝えて、理解していただく、その上で、3週間に1曲コーラスがある曲をおこなう。事を伝える。 amazing grace 30名のクラスで4チーム作成する。		
2	演習	チームごとに課題曲を発表、良かったところと次の課題を伝える。		
3	演習	課題曲発表 ソロ・ハーモニーについてのリフレクション		
4	演習	新曲提出(前回の発表を元に、個人差がある音楽知識をうめるための課題を個々にだす。		
5	演習	チームごとに課題曲を発表、良かったところと次の課題を伝える。		
6	演習	課題曲発表 ソロ・ハーモニーについてのリフレクション、チームごとに良かった事、次の課題をまとめてクラスで発表 新曲提出、コーラス音振り		
7	演習	新曲提出 難易度をあげた曲、ここでは一つ一つできる事を講師と共に増やして授業をおこなす。		
8	演習	チームごとに課題曲を発表、良かったところと次の課題を伝える。		
9	演習	チームごとに課題曲を発表、良かったところと次の課題を伝える。		
10	演習	課題曲発表 ソロ・ハーモニーについてのリフレクション、チームごとに良かった事、次の課題をまとめてクラスで発表 新曲提出、コーラス音振り		
11	演習	新曲提出		
12	演習	チームごとに課題曲を発表、良かったところと次の課題を伝える。		
13	演習	チームごとに課題曲を発表、良かったところと次の課題を伝える。		
14	演習	課題曲発表 ソロ・ハーモニーについてのリフレクション、チームごとに良かった事、次の課題をまとめてクラスで発表 新曲提出、コーラス音振り、これまでの課題曲をそれぞれに割り当てて4チームでライブをおこなう		
15	演習	課題曲のライブ発表会(前期のリフレクション)		
準備学習	与えられた課題曲・音域内での発声練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ	一人一人の声の性質を確認した上でそれぞれの方にあう、課題と成長していける過程を提示できます。才能ではなく、努力する事で仕事で成功する事を授業を通して証明していきます。			

科目名	楽器レッスン(Gtメロディックコンセプト)	担当教員名	直塚 航	
時間数	60	必修	配当年次	2年次
曜日・時限			教室	EN632
授業の到達目標	ギターを通して、現代音楽で必要とされる音階(スケール)を理解し、それを表現するテクニックを習得する事を目的とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 各スケールのインターバル(音程)を把握し、それを自由にコントロールする為のテクニックの習得。			
【実務経験】音楽教育の現場を含め、音楽業界で20年以上のキャリアを持ち、ギタリストとしての活動や、映画音楽制作、TVCMの音源制作、メジャーレコード会社からの作品発表など多方面で現在も活動。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	メジャースケールのインターバルを理解し、スライドやベンディングなど基本テクニックを使い表現する		
2	演習	メジャースケールのインターバルを理解し、スライドやベンディングなど基本テクニックを使い表現する		
3	演習	メジャーペンタトニックのインターバル。Blue noteの考え方。		
4	演習	メジャーペンタトニックのインターバル。Blue noteの考え方。		
5	演習	マイナースケール、マイナーペンタトニック。		
6	演習	Dorianを使用し、トライアド、テンションノートを把握する。		
7	演習	Dorianを使用し、トライアド、テンションノートを把握する。		
8	演習	ドミナントとは。メジャーへ解決するアプローチ。		
9	演習	ドミナントとは。マイナーへ解決するアプローチ。		
10	演習	ドミナントとは。ディミニッシュスケール、オルタード。		
11	演習	ドミナントとは。ディミニッシュスケール、オルタード。		
12	演習	裏コードとは。Lydian 7thのアプローチ法。		
13	演習	裏コードとは。Lydian 7thのアプローチ法。		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習	前單元までの復習 自主練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ	ギターの指板上の形だけで覚えるのではなく、各スケールの構成、インターバルをしっかりと把握する事で、歌える存在感のあるプレイに結びつきます。			

科目名	楽器レッスン(Bassラインメイキング)		担当教員名	金川凡洋
単位数	120	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修	教室	EN632
授業の到達目標	ベーシストとして、様々な楽曲に対する創造的で幅の広い演奏技術の習得と、その延長上に、自身のオリジナリティを見いだしていくことが目的である。コード進行の分析、解釈を行い、楽曲のジャンルに根ざした適切な音選びのベースラインを判断、構築できる技術を身につけることが目標となる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 現代音楽におけるコード進行の様々な手法に対する、理論的な分析と解説。それらを使った実例曲のベースラインの紹介と演習を行い、ベースラインの構築方法を学ぶ。			
【実務経験】	98年専門学校在学中に結成したバンドSly Tribesでレコードデビュー、6枚のアルバムをリリース。多数のメジャーアーティストと共演。2007年にバンド脱退後、セッションミュージシャンとして活動。また同年より母校であるOSMIにて講師として後進の育成にも携わっている。森山公一(オセロケッツ)率いるthe Sokai、桑名晴子、THE MICETEECE、心屋仁之助バンド、iyco&kakafulaha、平方元、等のレギュラーベーシストとして活動中。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション 楽器の扱い方の基礎 ウォームアップエクササイズ		
2	演習	左右のフォームについて		
3	演習	コードアルペジオ(1) トライアドの説明		
4	演習	コードアルペジオ(2) 4和音 M7,7th		
5	演習	コードアルペジオ(3) 4和音 m7,Halfdiminish		
6	演習	ダイアトニックコード(1) キーの把握		
7	演習	ダイアトニックコード(2) コード進行の基礎		
8	演習	メジャーペンタトニック 基礎的なベースラインパターン		
9	演習	マイナーペンタトニック 基礎的なベースラインパターン		
10	演習	アヴェイラブルノートスケール(1)		
11	演習	アヴェイラブルノートスケール(2)		
12	演習	アヴェイラブルノートスケール(3)		
13	演習	実技試験 復習		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業内配布のBass Lineテキストのフレーズを暗譜して弾けるようにする。 各単元ごとの理論的な内容をしっかり復習して、日々実践して身につけていくこと。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験		
教材	教科書	Bass Line Concept 1.2		
	参考書	随時配布テキスト、譜面		
学生への メッセージ	このベースライン、カッコいいけど、何スケール弾いてるの？ どうしてこの音が使えるの？ 理論的には正しいはずなのに、なんだか気持ち悪い…どうして？ このコードの意味が全然わからない！！ そんな疑問を僕と一緒に考え、紐解いて、ベースラインを作る楽しさを知るための授業です。			

科目名	楽器レッスン(Drラインメイキング)	担当教員名	星山哲也
単位数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。 理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>①ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツのマーチングとしての応用。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになる。楽曲の中での自由度を更に広げる。</p>		
<p>【実務経験】ドラマー、パーカッショニスト。劇団四季ミュージカル「ライオンキング」にパーカッショニストとして参加。その後、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。またアニメ「ジョジョの奇妙な冒険」第3部オープニングテーマを始め数々のCMドラム演奏にも参加。バンドでは佐久間正英氏のリーダーバンド「unsuspected monogram」やミックキー吉野氏の「Mickie Yoshino Project」に参加。最近ではthe Badasses、梵天、YOU氏(DEAD END)を中心に様々なアーティストと活動中。教則DVD「至極のツーバスドラミング」も好評発売中。</p>			
回数	授業形態	内容	
1	演習	シングルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.1	
2	演習	ダブルストロークコンビネーション・オールアメリカンドラマーNo.2	
3	演習	シングルパラデイドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.3	
4	演習	ダブルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.4	
5	演習	トリプルパラデイドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.5	
6	演習	ダブルパラデイドルバリエーション・オールアメリカンドラマーNo.6	
7	演習	トリプルパラデイドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.7	
8	演習	フラムダブルパラデイドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.8	
9	演習	フラムトリプルパラデイドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.9	
10	演習	2拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.10	
11	演習	2拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマー復習	
12	演習	4拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.11	
13	演習	4拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマーNo.12	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	<p>・様々な音符をメロノームに合わせてタイトに演奏出来るようにする事。</p>		
成績評価	<p>1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)</p>	実技試験100%	
教材	教科書	DRUM CONTROL THEORY	
	参考書		
学生への メッセージ	<p>基本はそのまま実践応用に直結！ 精進！精進！</p>		

科目名	アンサンブルレッスン(ゴスペルアンサン)	担当教員名	池末 信
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	EN431		
「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。			
【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	
2	演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	
3	演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	
4	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	
5	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	
6	演習	3曲新曲、選択理論ワーク	
7	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	
8	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	
9	演習	プレイフルワーク、楽曲復習	
10	演習	楽曲復習、新曲レクチャー	
11	演習	楽曲復習、新曲レクチャー	
12	演習	楽曲復習、ケイティワーク	
13	演習	新曲レクチャー	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験	
教科書 参考書	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、ゴスペルを学びの先に本物になろう		

科目名	アンサンブルレッスン(2年アンサンブル)	担当教員名	引田 寿徳
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	2年次 EN431
授業の到達目標	課題曲を良く理解して曲の構成やシステムを学ぶ。 他のパートのメンバーとアンサンブルする事で、バンド内でのコミュニケーションを学ぶ。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 各パートのメンバーにコミュニケーションの大切さを学んでもらう。他のメンバーの音をよく理解する事の大切さを理解する。		
【実務経験】OSM卒後、LAに移住。David Lee Roth Bandに加入。Hideous Sun Demonsで全米デビュー。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Song #1のアンサンブル	
2	演習	Song #1、#2のアンサンブル	
3	演習	Song #1、#2のアンサンブル	
4	演習	Song #2のアンサンブル	
5	演習	Song #2、#3のアンサンブル	
6	演習	Song #2、#3のアンサンブル	
7	演習	Song #4のアンサンブル	
8	演習	Song #4、#5のアンサンブル	
9	演習	Song #4、#5のアンサンブル	
10	演習	Song #5のアンサンブル	
11	演習	Song #5、#6のアンサンブル	
12	演習	Song #5、#6のアンサンブル	
13	演習	テスト週	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	iPadから曲、譜面をコピーして準備する。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席率+実技テスト	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	アンサンブルの大切さ、楽しさを理解して、自分のライブ経験につなげる事！		

科目名	アンサンブルレッスン(BANDアーティストディレクション)	担当教員名	渡辺敦子、森山公一
時間数	60	必修・選択	2年次
曜日・時限		選択	EN232
授業の到達目標	ライブパフォーマンスの向上。より良い楽曲作り。活動内容の拡大。		

授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する
ライブパフォーマンスの向上。より良い楽曲作り。活動内容の拡大。

【実務経験】1973年大阪市生まれ。学生時代に結成したバンド「オセロケッツ」のソングライター・ボーカリストとして、1997年にメジャーデビュー。現在までシングル10枚、アルバム3枚をリリース。自身も02年にソロシングル、2015年には初となるソロアルバム『Record!』を発表している。坂本サトル、浅田信一との“浅森坂”

回数	授業形態	内容
1	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
2	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
3	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
4	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
5	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
6	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
7	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
8	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
9	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
10	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
11	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
12	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
13	演習	各バンドへのアドバイス(楽曲制作・パフォーマンス・プランニング等)
14	演習	(ワークショップ)
15	演習	(ワークショップ)

準備学習 音楽はもちろん、映画・小説・絵画等あらゆる芸術作品に触れて、感性を磨きましょう。
時間外学習

成績評価 1. 実技試験(%)
2. 筆記試験(%)
3. 課題(%) 実技試験100%

教科書
教材
参考書

学生へのメッセージ 「好き」で始めた気持ちを忘れず、より良いバンドに成長できる様、頑張りましょう。

科目名	アンサンブルレッスン(ワーキングスキルゼミアンサンブル)	担当教員名	浜崎州平
単位数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	1.世界、業界標準のレパートリー曲の取得 2.用語、マナー等 必要な知識の取得 3.楽曲の理解力現場への対応力の向上		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する アンサンブルを通じて現場で実際に起こりうる課題をクリアする為のスキル、知識、マナーを学び経験値を積む。また、これからの時代に必要とされるスキルを備えたミュージシャンの、育成。		
【実務経験】997年ベースプレイヤーとして活動を開始。プロデューサー、作編曲家としても活動しメジャー、インディーズ問わず多くの作品に参加。アーティストプロデュース、CM音楽、舞台作品、映像音楽等に多岐にわたるプロジェクトに参加			
回数	授業形態	内容	
1	演習	アンサンブルエクササイズを通して軸を考える	
2	演習	レパートリーを交えリズムアンサンブルをさらに強化する	
3	演習	キメやブレイクなどリズム的な変化に挑戦	
4	演習	パートごとの役割を考える	
5	演習	コーラスセクションからハーモニーを考える	
6	演習	楽器、コーラスパートのアンサンブルを考える	
7	演習	リードボーカルとのアンサンブルを考える	
8	演習	それぞれのソロパフォーマンスを考える	
9	演習	リズム、コードのアイデアからアレンジメントにアプローチ	
10	演習	楽曲を理解し更なるアレンジメントを考える	
11	演習	実践的なアレンジメントを考える	
12	演習	ショーアップを意識する	
13	演習	ライブ形式での実戦で結果を出す	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	コード、スケールの確認。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席点	
教材	教科書	Bass Groove Analyze(滋慶出版オリジナル教材)、他	
	参考書		
学生への メッセージ	実戦的なセッションを通じ出来るだけ多くの経験をしましょう！		

科目名	PA録音実習(PC(1)(2))	担当教員名	峯口弥生
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	1.歌を中心とした音楽的なスキルアップ。2.それぞれの進路に応じた職業感を身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 各学生に応じたヴォーカルレッスン及びカウンセリング		
【実務経験】1993年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、1996年大阪音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了後、数々の演奏活動を経て、2001年よりヴォイストレーナーとして多くのヴォーカリストを輩出している。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	それぞれが目指す活動内容に応じた目標を設定する。	
2	演習	個人レッスン	
3	演習	個人レッスン	
4	演習	個人レッスン	
5	演習	個人レッスン	
6	演習	個人レッスン	
7	演習	個人レッスン	
8	演習	個人レッスン	
9	演習	個人レッスン	
10	演習	個人レッスン	
11	演習	個人レッスン	
12	演習	個人レッスン	
13	演習	個人レッスン	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	課題とする楽曲の研究と歌唱練習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業内評価100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	継続は力なり。プライベートレッスンで自分にしかない声の魅力を知り、練習を積み重ねていきましょう。		

科目名	PA録音実習(PC(3)(4))	担当教員名	津原順一
単位数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標			
ボーカリスト、シンガー、歌手を目指す生徒、各個人のスキル向上。			
授業の内容			
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するストレッチ～ボイストレーニング。楽曲歌唱、パフォーマンス、作詞作曲や各個人のアーティスト活動についてアドバイスなどを行う。			
【実務経験】93年結成GERAL DINEにて95年NHKの音楽コンテストにて優勝、96年も出場解散。97年結成CAMDEN LOCKがテレビ朝日系音楽オーディションに合格したのをきっかけに番組で取り上げられインディーズバンドながらも関西、近畿圏と人気を博し、関東、全国区へと活躍する。アルバム2枚、ライブCD1枚をリリース。99年解散。以後、バンドボーカル、シンガーソングライター(ジュニチ)として活動。インディーズレーベル事務所を立ち上げ、若手バンドの育成なども行う。昨年(2018)よりOSMのバンドアンサンブル(VO)講師として就任。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	初回ガイダンス、各個人の目標についてディスカッション。	
2	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
3	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
4	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
5	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
6	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
7	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
8	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
9	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
10	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
11	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
12	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
13	演習	各個人へのボイトレ、歌唱指導、パフォーマンスなどをアドバイス。	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	取り組みたい課題曲の予習、ヴォイストレーニングの復習。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験 100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	バンドボーカルやシンガーソングライター、ダンスボーカルやソロボーカルなど様々な夢を描いている皆さんの未来ももちろんの事、歌のお仕事には、仮歌録音やバックバンドのコーラス、CMソングの歌やカラオケのガイドボーカル、作曲家や楽器プレイヤーからの歌の依頼など様々なものがあります。目標や理想に近づく課題を見つけてスキルアップしながら、自身のボーカリストとしての表現力を高め、多岐にわたり活躍できる歌い手を目指しましょう！		

科目名	音楽史(ドラムライン)		担当教員名	星山哲也
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	EN231,232,334
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・打楽器のアンサンブルを通じて様々なリズムを習得。 ・チームワークの大切さの実感。 			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ・ドラムセットを各パートに振り分け様々なリズムやテクニックを習得し作品として総合エンターテインメントを作る。□			
【実務経験】ドラマー、パーカッショニスト。劇団四季ミュージカル「ライオンキング」にパーカッショニストとして参加。その後、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。またアニメ「ジョジョの奇妙な冒険」第3部オープニングテーマを始め数々のCMドラム演奏にも参加。バンドでは佐久間正英氏のリーダーバンド「unsuspected monogram」やミックキー吉野氏の「Mickie Yoshino Project」に参加。最近ではthe Badasses、梵天、YOU氏(DEAD END)を中心に様々なアーティストと活動中。教則DVD「至極のツーバスドラミング」も好評発売中。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	学園祭ドラムアンサンブルリハ		
2	演習	学園祭ドラムアンサンブルリハ		
3	演習	学園祭ドラムアンサンブルリハ		
4	演習	学園祭ドラムアンサンブルリハ		
5	演習	学園祭ドラムアンサンブルリハ		
6	演習	学園祭ドラムアンサンブルリハ		
7	演習	スティックトリック		
8	演習	スティックトリック		
9	演習	サンバアンサンブル		
10	演習	サンバアンサンブル		
11	演習	ラテンアンサンブル		
12	演習	ラテンアンサンブル		
13	演習	ラテンアンサンブル		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	・様々な音符をメロノームに合わせてタイトに演奏出来るようにする事。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	今年も最高のショーを作ろうねっ！			

科目名	音楽史(引田ゼミ)		担当教員名	引田 寿徳
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	EN431
授業の到達目標	アメリカでスタンダードとなっているテクニックを学ぶ。 ライブやRECでのテクニックを理解してマスターする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 様々なジャンルのリズム、コード進行を使って、様々なギターテクニックをマスターする。			
【実務経験】OSM卒後、LAに移住。David Lee Roth Bandに加入。Hideous Sun Demonsで全米デビュー。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	テクニック#1		
2	演習	テクニック#2		
3	演習	テクニック#3		
4	演習	#1、#2、#3を使ってアドリヴ		
5	演習	テクニック#4		
6	演習	テクニック#5		
7	演習	テクニック#6		
8	演習	#4、#5、#6を使ってアドリヴ		
9	演習	テクニック#7		
10	演習	テクニック#8		
11	演習	テクニック#9		
12	演習	#7、#8、#9を使ってアドリヴ		
13	演習	テスト週		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	毎日のベーシックな練習、運指練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席率+実技テスト		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	常に新しいテクニック&サウンドを追及して、アメリカの音楽の深さを学ぶ。			

科目名	ステージパフォーマンス(2年アンサンブルスタイル(3)(4))		担当教員名	FIRE
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	EN632
授業の到達目標	単に曲を弾くだけでなく、合奏としての意味を理解し人前で演奏する姿勢を学んで貰います。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載す現役でメジャーで活躍するミュージシャンが世界に通用するパフォーマンスを指導します。主に海外のバンドの曲を元にパフォーマンスして貰い、単に演奏だけでなくステージに上がる責任、重みを感じて貰います。またエンターテイメントとしての音楽も実践して学んで貰います。曲のコピーだけでなくグルーヴの大切さ、ベースの役割を学びます。			
【実務経験】	大阪スクールオブミュージック専門学校、アメリカのMusicians Instituteを卒業。その後東京にてメジャーデビュー。スタジオミュージシャンとしても20年以上メジャーアーティストと共に多くのHIT作品を手がける。ライブパフォーマンスも5大ドームや世界ツアーも数多く経験する。音楽指導も積極的に行っており既に多くのプロミュージシャンを育てている。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	課題曲の解説と実技		
2	演習	課題曲の解説と実技		
3	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践		
4	演習	課題曲の解説と実技		
5	演習	課題曲の解説と実技		
6	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践		
7	演習	課題曲の解説と実技		
8	演習	課題曲の解説と実技		
9	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践		
10	演習	課題曲の解説と実技		
11	演習	課題曲の解説と実技		
12	演習	講師によるデモ演奏と学生による実践		
13	演習	総括		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	課題曲のコピー。演奏だけでなく歌詞の内容、バンドの歴史、ライブパフォーマンス等も調べておく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1)実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	人前で演奏するとは何かを学んで感じて欲しいです。			

科目名	ステージパフォーマンス(2年ワーキングゼミスタイル(3)(4))	担当教員名	浜崎 州平
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限			2年次
授業の到達目標	教室 EN431		
授業の内容	「職業ミュージシャン」として必要な知識とスキルを取得しコミュニケーションスキルの育成、プロ同様のスピードとクオリティを取得し、世界中でスタンダードな楽曲レパートリーを覚える。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するミュージシャンの間で使用するグローバルな音楽共通語を学ぶ。		
【実務経験】997年ベースプレイヤーとして活動を開始。プロデューサー、作編曲家としても活動しメジャー、インディーズ問わず多くの作品に参加。アーティストプロデュース、CM音楽、舞台作品、映像音楽等に多岐にわたるプロジェクトに参加			
回数	授業形態	内容	
1	演習	グルーヴについて	
2	演習	リズムアレンジ1	
3	演習	リズムアレンジ	
4	演習	調(Key)移調について	
5	演習	調(Key)移調について	
6	演習	男性・女性・キャラクターに合わせてKey対応	
7	演習	アレンジ1	
8	演習	アレンジ2	
9	演習	編曲	
10	演習	ショーアップ1	
11	演習	ショーアップ2	
12	演習	ショーアップ3	
13	演習	ショー開催	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	課題曲の視聴と理解を深める		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%	
教材	教科書	楽曲レパートリー……Feel like maki'n love,Sir Duke,Sunday Morning,Souny, Just the two of us,Got to be real,If iaim't Got You etc…	
	参考書		
学生への メッセージ	人に必要とされるスキルと知識を身に付け、様々な現場に対応できるクオリティーを一緒に目指して行きましょう！		

科目名	楽器メンテナンス(フィジカルトレーニング(3)(4))	担当教員名	竹原 聖奈
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	体づくりを経て、実際に様々なジャンルのダンスを通し、ステージに立つことへの自信を身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する基本的にはストレッチ、筋力トレーニング、基礎、リズムトレーニング、振り付けを毎時間行います。基礎やリズムトレーニングはその日の振り付けに必要なものを行います。		
【実務経験】4歳からJazzを中心にダンスをはじめ、18歳頃からJazzやStyle HipHopのnumber出演や公演参加、バックダンサー等を経験。22歳からダンススタジオでのアシスタントをスタート。これらの経験を活かし様々なジャンルのレッスンを行います。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Style HipHop	
2	演習	Style HipHop	
3	演習	Style HipHop	
4	演習	K-POP	
5	演習	House	
6	演習	Jazz	
7	演習	Jazz	
8	演習	Music Box作品制作	
9	演習	Music Box作品制作	
10	演習	Music Box作品制作	
11	演習	Music Box作品制作	
12	演習	Music Box作品制作	
13	演習	Music Box作品制作	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	Music Boxに向けての練習、制作。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%。	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	まずはダンスを楽しみ、様々なジャンルを知りましょう。そしてMusic Boxに向けての制作や練習を重ね、ステージに立つということの感覚を実際に感じてみましょう。		

科目名	楽器メンテナンス(アコースティックアドバンス(3)(4))	担当教員名	森島 達雄
時間数	60	必修・選択	2年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	アコースティックギターの様々な奏法(ピックを使用したもの、指弾きのもの)を総合的に習得する。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ポピュラー、ロックの楽曲で実際に演奏されているアコースティックギターの奏法をまずエクササイズパターンから学んでいき、既成曲の演奏に続けていく。そのくり返しによって応用力を身に付ける。		
【実務経験】	1979年よりプロとしての演奏活動始める。平行して同年よりヤマハ音楽振興会にてレッスン活動も始める。現在に至るまで、数多くのライブサポート、レコーディング、テキスト開発に携わっている。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	ストロークパターン①アルペジオパターン①	
2	演習	ストロークパターン②アルペジオパターン②	
3	演習	ストロークパターン③アルペジオパターン③	
4	演習	ストローク楽曲①アルペジオ応用パターン	
5	演習	ストローク楽曲①アルペジオ応用パターン	
6	演習	ストローク楽曲①アルペジオ応用パターン	
7	演習	ストローク楽曲①アルペジオ応用パターン	
8	演習	ストローク楽曲②アルペジオ応用パターン	
9	演習	ストローク楽曲②アルペジオ楽曲①	
10	演習	ストローク楽曲②アルペジオ楽曲①	
11	演習	ストローク楽曲③アルペジオ楽曲①	
12	演習	ストローク楽曲③アルペジオ楽曲①	
13	演習	ストローク楽曲③アルペジオ楽曲①	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	反復練習が必要なものが多いです。できるだけ毎日練習して下さい。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	この授業の内容が修得できたら、アコースティックギタープレイヤーとして一人前と言えます。 がんばって下さい。		

科目名	コンピューターミュージック(ソングライティングDTM(1X2))		担当教員名	直塚 航
時間数	60	必修	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	501
授業の到達目標	コンピュータを使用し、作曲、編曲が出来る技術を習得する事を目的とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するシーケンスソフトの概念を理解した上で、メロディ、ハーモニー、リズムの関係性を習得する。発想を効率良く形にするには。			
	【実務経験】音楽教育の現場を含め、音楽業界で20年以上のキャリアを持ち、ギタリストとしての活動や、映画音楽制作、TVCMの音源制作、メジャーレコード会社からの作品発表など多方面で現在も活動。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	作曲する為の基本セッティング。		
2	演習	メロディーとは。モチーフを組立て、パターン化。		
3	演習	既存曲のメロディーのパターンを分析。音の動き方を考える。		
4	演習	音程の把握。メジャースケール、マイナースケール。ハーモニーとは。		
5	演習	メジャースケール、マイナースケールで、それぞれ2つのメロディーラインを考える。		
6	演習	ケーデンス、ドミナントモーションとは。		
7	演習	ドラム、ベースの役割。リズムのパルス、アクセントとは。		
8	演習	各パートの関係性。メロディー、ハーモニー、アクセントとの関係性を考える。		
9	演習	メロディーとbackingの関係性。		
10	演習	ストーリーを考える。各場面(レットテル)のメリハリを出すには。		
11	演習	転調、一時転調とは。		
12	演習	使用する楽器、各パートの音色など、音域も含めバランスを考える。		
13	演習	使用する楽器、各パートの音色など、音域も含めバランスを考える。		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習	各自 楽曲制作			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験80% 課題20%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ	音を自分の意思でコントロールする楽しさや、自身の思いやイメージを作品として残す楽しさを実感してください。			

科目名	コンピューターミュージック(作曲ゼミ(3)(4))		担当教員名	横野 康平
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	606・501
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 用意した楽曲(課題曲)のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める (不足パートを制作する)。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャー する。 【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	基本操作、ドラム音源の仕組み、ドラムの打ち込みが出来るようになる		
2	演習	コードの仕組みを理解し素早く打ち込むことが出来るようになる		
3	演習	ベースやギターの入った楽曲を元に素早く構成を作れるようになる		
4	演習	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる		
5	演習	シンセサイザーの仕組みを理解し簡単な音色などは自分で作れる様になる		
6	演習	アルペジエーターを学び楽曲に彩りを加えられるようになる		
7	演習	Pad,bell,stringsなどを使って曲に華やかさを加えられるようになる		
8	演習	参考音源を使ってオートメーションを学び曲に変化を加えられるようになる		
9	演習	SEについて学び楽曲を派手に聴かせれるようになる		
10	演習	サンプリングを習得しLoop素材などをカスタマイズ出来るようになる		
11	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる1(色々なサイドチェイン)		
12	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる2(音色のレイヤー&mix)		
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業態度30% 楽曲クオリティ70%		
教材	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		
学生への メッセージ	一からの授業になります。各自のレベルは気にせず知りたいことがあればどんどん質問 しに来てください。			

科目名	コンピューターミュージック(作曲ゼミ(3)(4))		担当教員名	横野 康平
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	606・501
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する用意した楽曲(課題曲)のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める(不足パートを制作する)。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャーする。</p> <p>【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	Maschineの概要説明Sampler内にある機能の紹介。Drum synthを使って常識にとらわれないDrumKitを作りビート作り。		
2	演習	MaschineのAudioのLoopModeの説明とアイデアの考案、Note modeを使って直感的なトラックメイキングに挑戦。レイヤーテクニックの紹介。		
3	演習	海外研修		
4	演習	Maschineでベースラインとメロディーの打ち込み。		
5	演習	Maschine内でアレンジを完成させる。Slice方法の紹介。		
6	演習	Maschineで作った素材の書き出し方、Ableton Linkでの同期方法、FXの使用例と作り方。Macroの設定方法。Automationの書き方		
7	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
8	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
9	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得1- Launch Modeを使ってサンプラーっぽく使ってみる		
10	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得2- Launch Modeを使ってランダムイズだけでフレーズを作ってみる。		
11	演習	Ableton Live内の”wabletable”の基本的な使い方からアフタータッチなどのMIDI control設定まで理解する。		
12	演習	MacroやMap機能またMaxForLiveなどを使ってエフェクターやシンセを拡張する術とAbletonのオートメーションを学ぶ。		
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業態度30% 楽曲クオリティ70%		
教材	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		
学生への メッセージ	一からの授業になります。各自のレベルは気にせず知りたいことがあればどんどん質問しに来てください。			

科目名	プロダクション実務(キャリア教育(3)(4))	担当教員名	水島 秀樹
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	キャリア教育を通じて、著作権・社会的スキル・人間力を育成し、卒業までに、職業人として社会に貢献できる人材になる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する エンターテインメント業界にて職業人として仕事をするために必要な知識、ルールなど最後の学校として伝えなければいけないものを講義します。		
【実務経験】	1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルを担当。		
回数	授業形態	内容	
1	講義	ITリテラシー	
2	講義	守秘義務について	
3	講義	目標シート制作	
4	講義	ホスピタリティオリエンテーション	
5	講義	SNSリテラシー	
6	講義	税金等の納税の義務について	
7	講義	PDCAサイクル	
8	講義	契約について	
9	講義	企業研究について	
10	講義	社会人基礎力①	
11	講義	社会人基礎力②	
12	講義	社会人基礎力③	
13	講義	社会人基礎力④	
14	講義	テストと振り返り	
15	講義	まとめと振り返り	
準備学習 時間外学習	授業内で発表する課題を次週までに完成させること。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	社会に出る直前の最後の学校として伝えるべき必要なことを学んでいただきます。授業は休まないようにしましょう。		

科目名	OA実習(MUSICIANS IT(3)(4))	担当教員名	木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次 2年次
曜日・時限		教室	601教室
授業の到達目標	ProToolsの基本操作の習得。Voテイクの編集とデモ音源制作の手順。マイクについての基礎知識の習得。データ管理スキルの習得。サイト制作基礎知識の習得。セルフブランディングの術を身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するPCを使つての各種アプリケーションの使用法の解説と実習。		
【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	講師紹介／授業概要／601教室の使い方／PC基礎力チェック／PC基礎／周辺機材の基礎知識	
2	演習	デジタルオーディオ基礎／ファイルの種類／データ管理法／MYデータの管理	
3	演習	ProTools 基本操作／ウインドウ、トラック各部の意味、環境設定／ショートカット／MYデータの読み込み	
4	演習	Vocal編集(1) 各ツールの使い方／プレイリストを使った編集／ベストテイクの作り方	
5	演習	Vocal編集(2) プラグインのかけ方／EQ、Comp、Reverbの使用法(基礎編)	
6	演習	Vocal編集(3) Mixバランスの取り方／ハウンスの仕方／MP3への変換	
7	演習	Vocal編集(4) ナッジを使ったタイミング編集／より高度なVoEdit／音圧のコントロール	
8	演習	Audioインポート・エクスポート／CDからのオーディオ読み込み／外部ストレージの利用法	
9	演習	セルフブランディング概論／セルフブランディングチェック／食える1%になる方法	
10	演習	マイクの使用法(1) ／マイクの種類／様々なマイキング／結線の仕方／	
11	演習	マイクの使用法(2) ／レベルコントロール／モニターコントロール／RECシミュレート	
12	演習	ProToolsでのラフミックス／ハウンス／簡易マスタリング／楽曲を使つてのデータ送受信	
13	演習	Vocal編集(5) MYデータを使った音源制作(夏休み提出課題)	
14	演習	前期のまとめ／不得意箇所の洗い出し	
15	演習	不得意箇所の復習	
準備学習 時間外学習	MYデータ(Voレコーディングデータ)の取得。課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3. 課題100%	
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。	
	参考書		
学生への メッセージ	昨今の音楽業界において、PCを使つた各種アプリケーションの習得は必須事項となっています。スキルを身につけた分だけ、チャンスが広がります。しっかり覚えていきましょう。		

科目名	制作(卒業制作)		担当教員名	水島 秀樹
時間数	180	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	EN431
授業の到達目標	2年間の授業の成果を発表するため各コンセプトにあった最高のパフォーマンスを行う。			
授業の内容	テーマに沿ったパフォーマンス内容の構築を行うとともに、多くの学生が参加することを理解し、ミーティングを通じてコミュニケーション能力を磨く。またミーティングの中で他学科の学生とのコミュニケーションを図り、自分の思い描くイメージの実現に努め、最後まで最高のパフォーマンスを見せるべく取り組む力をつける。			
【実務経験】	1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルを担当。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	テーマミーティング		
3	演習	テーマミーティング、課題曲決定		
4	演習	ヴォーカルリハーサル		
5	演習	ヴォーカルリハーサル		
6	演習	フォーメーションリハーサル		
7	演習	クオリティチェック		
8	演習	パフォーマンス&演出ミーティング		
9	演習	演出ミーティング&テクニカルミーティング		
10	演習	全体リハーサル		
11	演習	最終テクニカルミーティング		
12	演習	全体リハーサル		
13	演習	現場全体リハーサル		
14	演習	本番		
15	演習	振り返り		
準備学習 時間外学習	決まった課題曲の反復練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	2年間頑張った成果をたくさんの方に見てもらいましょう！ 最高の感動を伝えられるように、最後まであきらめずに頑張りましょう！			